

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や
楽しい話題、イベントなどの身近な
情報をお待ちしています。

▷ 問い合わせ 広報情報係
(☎223-3569)

今月は「まちのわ
だい」を拡大して、
お届けします。

国を守る自衛官の確保に努めます

7月5日 自衛官募集相談員委嘱式

自衛官募集相談員^{いしょく}委嘱式が役場で行われました。自衛官募集相談員は、国の平和を守る自衛官確保のため、募集活動や勧誘などを行うもので、芦屋町と自衛隊福岡地方協力本部から、貝掛俊之さんに委嘱されました。任期は令和5年7月1日から2年間です。

性のあり方ってなんだろう

7月7日 芦屋町人権講演会

芦屋町人権講演会があしや夢リアホールで行われ、164人が来場しました。性的少数者の人権をテーマに、映画『カランコエの花』^{ぶらす}と『性の多様性とLGBTQ+ ~誰もが自分らしく生きるために~』を上映しました。また、会場には人権啓発パネルと男女共同参画パネルの展示もあり、来場者は「あらためて性的少数者のことを考える1日になりました。参加してよかったです」と話していました。



皆さんは何色を選びますか

7月8日 中央公民館講座 色彩心理学入門 (実践)

中央公民館講座で色彩心理学入門 (実践) が行われました。20人の参加者は、それぞれの手元にあるスケッチブックに、左手で、怒り・悲しい・喜び・なつかしいなどの気持ちを、24色のクレヨンから好きな色を選び、思いつく形で自由に表現しました。講師で心理カラーコンサルタントである浅井さち子さんは、「描いた色には、描いた時の気持ちが含まれている。青は冷静、オレンジは愛情、親しみやすさなどさまざま。描いた時の自分の気持ちの状態を客観的に見るひとつの材料にすることができる」と話していました。参加者は「色を塗ることで自分の気持ちを知ったり、癒すことができるとわかりました」と話していました。

ぎよくろ 玉露の濃い味と甘い菓子を堪能

7月2日 芦屋釜の里 七夕煎茶会

芦屋釜の里で煎茶（玉露）と七夕の菓子を楽しむ七夕煎茶会が開かれました。「煎茶会を気軽に楽しんでいただきたい」「涼しさを感じられるように茶室に金魚鉢や青い紅葉の飾りをしつらえました」と話すのは小笠原流師範の小林さん。参加した小学生は「お茶は少し苦かったけど、お菓子が甘くておいしかった」と話していました。



戦や武士の生き方にも影響を与えた「山鹿流」

6月13日～10月15日

芦屋歴史の里特別展「維新前夜と山鹿流」

7月15日に芦屋歴史の里で、特別展「維新前夜と山鹿流」第1回ギャラリートークが行われました。今回は、壇ノ浦の戦いで大將軍として軍勢を率いて戦った山鹿兵藤次秀遠と、兵法「山鹿流」を編み出した山鹿素行を中心に、映像と展示で説明が行われました。現在も特別展は開催中で、9月9日(土)には第3回ギャラリートークが行われます。申込期間は9月2日(土)～8日(金)ですので、気になる人は芦屋歴史の里(☎222・2555)に申し込んでください。



生き物と地球のために今ぼくができること

7月16日 芦屋海浜公園で毎週末生き物さがしとごみ拾い

海と日本 PROJECT（日本財団）の熱源ジュニア重永悠喜さん（中学1年生）は、遠浅で穏やかだから生き物探しがしやすいと、芦屋海岸へ毎週通っています。3年前から生態系を守るためにごみ拾いを始め、母親と一緒に集めたごみの量はなんと1万リットル以上とのこと。重永さんは「稚魚が育つ岩場の隙間だけで、1日に924リットルのごみを拾ったこともある。ボランティアや自治体の人たちにも知ってもらい、ごみ拾い活動の輪が広がるとうれしい」と話していました。活動の様子はBSテレビ東京『みんなのあおいろ』で9月10日(日)午前6時30分から放送予定です。



△1月、芦屋海岸に打ち上げられていたヤリマンボウ



△BSテレビ東京の取材を受ける重永さん



△芦屋海岸のごみ